

生島地区住宅団地経営関係文書概要

- 1: 文書群番号 091018
- 2: 文書群名 生島地区住宅団地経営関係文書
- 3: 出所 未詳
- 4: 家業・役職等 -
- 5: 地名 尼崎市上ノ島、尼崎市栗山、尼崎市大西、尼崎市三反田、尼崎市長洲
- 6: 行政区分 尼崎市
- 7: 歴史 昭和14年（1939）、立花村の生島地区（大字上ノ島、栗山、大西、三反田）における土地区画整理事業が認可され、168,727坪に渡って宅地が造成された。戦後、極度の住宅難に対処することを目的として、すでに土地区画整理事業の完了した土地を利用した住宅経営事業が計画された。尼崎市から兵庫県に提出されたと考えられる申請関係書類によると、この事業は生島地区の自作農が出資して設立した立花住宅株式会社が執行する予定とされていた。また同地区は土地区画整理地区であったことから、農地改革において政府が耕作者への払下げを保留する区域に指定され、保留区域は全事業予定地の約2割を占めた。なお文書に見られる「一団地」とは、集団住宅を指す言葉と考えられる。
- 8: 伝来 古書籍商から購入、平成3年（1991）11月29日受入。平成14年（2002）5月に整理・目録作成を完了。
- 9: 史料入手先 古書籍商
- 10: 点数 7点（目録件数7点）
- 11: 年代 昭和21年（1946）～昭和25年（1950）
- 12: 構造と内容 本文書群は、昭和25年（1950）前後に、生島地区及び国鉄尼崎駅南出口前区域における住宅経営をめぐって作成された書類から構成される。「生島一団地住宅経営事業の申請に関する書類綴」【目録番号2】には申請理由書、経営計画書、事業予定地の一覧表などが合綴されている。これらの文書は生島地区における土地所有関係や農地改革の経緯を反映しており、興味深い。「立花住宅株式会社定款」【目録番号1】から、事業への出資者と出資額が明らかになる。戦後の住宅難に関連して、昭和21年、兵庫県土木部長・内務部長は、公共団体等による集団住宅の用地確保を容易にすべく通牒を發した【目録番号6】。生島地区における住宅経営事業の申請は、兵庫県の通牒と内容面で関連すると言えよう。この他本文書群には、国鉄尼崎駅南出口前区域における住宅経営事業の申請書類（下書き）が含まれている【目録番号5】。作成年代は上記文書とほぼ同じと思われる。この他、これらの事業申請と関連して、同時期に作成されたと思われる文書【目録番号3, 4, 7】も含まれている。
- 13: 関連史料 -
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 島田克彦